

2012年度入学試験（推薦入学A日程・11月12日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

現在の電力危機を受けて、これからの発電システムについて議論されていますが、主に、「原子力発電を見直し、他の発電方法に力を入れるべき」という考え方と「安全対策を万全にし、エネルギー効率の良い原子力発電を維持または拡大すべきである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・現在の社会や人々の生活は大量の電気を必要とし、それらを支えるために、発電力の大きい原子力発電が大きな役割を担ってきた。
- ・チェルノブイリ、スリーマイル島、福島第一などの例に見られるように、原子力は一旦、事故が起きると甚大な被害をもたらす。
- ・原子力施設の事故は、一過性のものではなく、数年、数十年にわたって健康や環境に影響を及ぼし続ける。
- ・日本はエネルギー資源に乏しく、燃料などを海外に求めなければならない現状がある。
- ・水力発電や火力発電は、事故時の影響は小さいが、自然の破壊や温室効果ガスの発生など、建設時や運用時の環境への影響が大きい。
- ・太陽光発電や風力発電は環境への影響は小さいが、技術開発中であり、エネルギー効率がまだ低く、社会システムを支え切れない。

2012年度入学試験（推薦入学B日程・12月11日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

公共の乗り物に「優先席を指定する必要はない」という考え方と「優先席をきちんと指定すべきである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・ 車内で、子どもを座らせて祖父母や親が立っているという様子をよく見かける。
- ・ 困っている方に席を譲るのはどの席に座っていても同じことという考えから、優先席を設けていない会社がある。
- ・ 若いお母さんが、子どもに席の譲り方を教えて、お年寄りに席を譲るようにしつけている光景に出会った。
- ・ 優先席は、座席や付近のつり革の色を変えたり、窓にマークをつけたりしてあり、わかりやすいようになっている。
- ・ 優先席は、海外にもある。ただ、それは「誰もが同様に安心して乗車できる」という考え方の下に設けられている。
- ・ 優先席とは、体の不自由な方や怪我をしている方、お年寄り、妊婦さんなどに優先的に座ってもらえるようにした席である。

2011年度入学試験（推薦入学A日程・11月13日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

英語は「幼児から学ばせるべきだ」という考えと「それは間違っている」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・子どもは臆することがないので、すぐに外国人と話すようになる。
- ・子どもはまだ考えを組み立てる力が弱いので、外国語を習うと考えることは定まらなくなってしまう。
- ・子どもは記憶する能力が高いので、小さい頃からいろいろなことを覚えさせるのがよい。
- ・子どもは経験を通して体で覚えることが望ましいので、いろいろな遊びを体験させるべきである。
- ・日本人として、日本に伝わる文化を理解させることが先決である。
- ・外国語がわかればいろいろな考えを聞くことができるので、考え方の幅が広がる。

2011年度入学試験（推薦入学B日程・12月12日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

幼稚園や小学校などで、子どもに「給食を用意するのが望ましい」という考えと「それは間違いである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として教える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・子どもには「食育」が必要なので、給食によってそれを進めることが望ましい。
- ・子どもは一人ひとり体質が違うので、子どもにあった食事は各家庭で用意するのが望ましい。
- ・子どもには家庭の愛情のこもったお弁当を用意することが、心の発育のためにも望ましい。
- ・家庭によっては、子どもに食事をきちんと用意できないこともあるので、誰もが食事ができるように給食を用意すべきである。
- ・食事のしつけは家庭ですべきことであり、何もかも教育機関に任せるのは間違いである。
- ・給食をみんなで食べるという経験が、食事の楽しみを味わわせたり、好き嫌いを無くしたりすることにつながる。

2010年度入学試験（推薦入学A日程・11月14日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

学習塾や語学教室などで子どもが学ぶ場合、「個人指導」と「集団指導」のどちらがよいと思いますか。
発想材料を参考に、あなた自身の材料を用いて意見文を書きなさい。
なお、次の条件を必ず守ること。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・ 教師が生徒を二対一で指導する個人指導の方法をとる教室や、二十名ほどのクラスで集団指導の方法をとる教室がある。
- ・ 集団で話し合う方が、いろいろな考えを聞くことができ、考え方の幅が広がる。
- ・ 個人指導の塾では、先生と友達のようなふんいきになってしまい、勉強する気が起こらなくなってしまう。
- ・ 集団指導の場合、一人の児童が不真面目な行動をとると、他の児童もそれをまねてしまうことがある。
- ・ 教師とだけでなく、いっしょに学ぶ多くの仲間と気軽に意見をかわすうちに、苦手意識がなくなることがある。
- ・ 受験対策として、子どもに家庭教師をつけて学ばせる親もいる。
- ・ 外国語を学ぶときには、個人指導の方がまわりの目が気にならないので思い切って話すようになる。

2010年度入学試験（推薦入学B日程・12月13日）【50分】
作文試験問題

学芸学部…子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

子ども向けの学習漫画について、「学習漫画は学習に役立つ」という意見と「学習漫画は学習に悪影響を及ぼす」という意見があります。あなたは、どちらだと考えますか。

発想材料を参考に、あなた自身の材料を用いて意見文を書きなさい。

なお、次の条件を必ず守ること。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・ 漫画は絵で内容のイメージを伝えているので、子どもが楽に進めることができる。
- ・ 漫画は漫画家の考え方で絵や内容を構成するので、事実とは違ったイメージが伝えられることがある。
- ・ 漫画は気軽に読むことができるので、学習内容に興味を持たせたり知識を広めたりするのに都合がよい。
- ・ 漫画を読み慣れてしまうと、文字ばかりの文章を読むのが面倒くさくなってしまう。
- ・ 漫画は展開が早く少し読むだけで内容のおおよそがわかるので、次々と読み進めることができる。
- ・ 漫画と学習漫画との区別がなくなってしまうので、教室には持ち込まないようにさせている学校がある。